

# ピアノに

# 関する 現代事情

かつて、各家庭の応接間でよく見かけた「ピアノ」。子どもたちの音色に耳を傾けながら、家族で過ごす団欒のひととき——。存在するだけで、生活に彩りを与えてくれるピアノですが、いまはどうでしょうか。少子高齢化や住宅事情により、ライフスタイルも変化しています。今回は、そんな令和のピアノ事情を紐解きます。



話を聞いたのは...

Piano Bank 代表  
なすけんいち  
奈須 憲一さん

ピアノのフェルトが、虫に食べられた様子の写真。赤い部分が、フェルトになります



世界三大ピアノのひとつ「ベヒシュタイン」をはじめとした、ヨーロッパの輸入ピアノも販売中



宮崎・都城店ともに、カルチャーセンターの1Fには、イトインのパン屋を併設。保護者の送迎の待ち時間に好評とか



Piano Bank  
宮崎市神宮東1-1-18-1  
tel.0985-31-0413  
※Piano Bank 都城カルチャーセンターも営業中

たピアノでお悩みの方も増えています。「居間や応接間に、ピアノを置いておきたいところがあるけど、生活空間にあるため、気になると手放せません。そんなジレンマを持っている方は多いですよ」  
そう話すのは「Piano Bank」の代表 奈須憲一さん。販売から買取、調律に引越、カルチャー教室。すべての業務に奈須さんが携わる、全国でも珍しいピアノの専門店です。  
でも何十年も一緒に過ごしたピアノ。愛着が湧いて、なかなか手放せない方がほとんどだと思います。いつか弾くかも、そう思いながら、子どもが40歳ごろになってやっと、重い腰をあげて、考え始める家庭が多いそうです。  
ただいつの日かに備えて、コレだけは

家庭で行っておいの方が良いことも。「3年置きに、タンスにゴンをいれる(笑)。もし弾くことになった場合、中のフェルトが食べられていたら、大掛かりな修理が必要になりますからね」  
同じく中古買取を行う、西村楽器の武田さんも話します。  
「10年以内で手放す方は、ほとんどいないです。ただ古いピアノは、痛んでいるものが多いので、買取りは35年くらいまでのものを対象にしています」  
どちらの店舗も中古を買い取り、販売を手がけます。共通するのは、宮崎で使用されたピアノを、宮崎の方たちに提供すること。移動費などのコストを抑え、良い状態のものを、正当な価値で、安く手に入れることができる。愛着のあったピ

アノは、宮崎の新しい家庭で、また命が吹き込まれます。  
そんな親世代のシニアの方たち。最近では、こんな光景も見られるとか。  
「ピアノを弾くのが夢だった、とピアノ教室に通う方が増えていますね。最近はおじいちゃんも来てますよ。ヒマだから、と言っんですけど(笑)、そのチャレンジ力がスゴイですよ」  
とPiano Bankの奈須さん。かつては子どもたちに夢を与えたピアノを、今度は自分も——。  
時代の変化とともに、変わりゆくピアノと生活。だけど、ピアノへの憧れは、色褪せることがないのかもしれない。この秋、閉じていたピアノの蓋を開けて、音色を奏でてみるのも良いかも?

新しいピアノのかたち  
生活に寄り添う、  
ピアノといえば、劇場やホールなどでおなじみのグランドピアノ。そして、家庭でよく見かけるアップライトピアノに、電子ピアノの3つです。  
あまりピアノが進化しているイメージはありませんが...実際ピアノも変わっている?  
「最近では、電子ピアノで新しいものが登場しています。例えば、録音機能がついたものや、BluetoothでYOUTUBEと連動できるものなど、付加価値が高い商品が増えていますね」  
と話してくれたのは、西村楽器の取締役の武田 信幸さん。  
コンパクトで音漏れの心配もなく、い

まのニーズに合わせて便利になっている電子ピアノ。家庭でなじみのあるアップライトといえど、一番小さいもので4万円。5万円から購入できる、電子ピアノの需要が高まり、西村楽器ではアコースティックピアノの3〜4倍の売り上げを誇るそうです。  
また同店では、アップライトや約2400万円もするグランドピアノ「スタンウェイ」の最上級ピアノなどが、30分〜1時間弾くことができるレンタルサービスも実施。若い世代が、ピアノに触れられる取り組みを行っています。  
ちなみに、ピアノ教室はどうでしょうか? 昔は友だちのお母さんや近所の先生に習いに行くのが定番でしたが、いまはカルチャースクールも県内各地に

存在します。  
「実は、いま県内にピアノの先生が1500人以上はいると思います。だから、個人で教室を持っている先生に習う子どもたちが、圧倒的に多いですよ」  
実は個人での教室が増えつつある背景に、SNSの台頭も。先生自身が教室を告知でき、さらに親も教室を見て選ぶことができるようになりました。ただ残念ながら、いま宮崎に「音楽専科」の大学がないため、若い指導者の方は減少傾向にあるそうです。  
**思い出のピアノの再出発**  
子どもが幼いころに購入したけど、実家を出ていき、孫も弾かない。時代に合わせたピアノの変化の裏で、かつて購入し



話を聞いたのは...

西村楽器 取締役  
たけだのぶゆき  
武田 信幸さん



アコースティックピアノなのに、音量調節もでき、スマホやタブレットにも接続可能な「トランスアコースティックピアノ」です



一番人気の電子ピアノで、こちらもBluetooth対応。選べるカラーもウレシイ!



宮崎県立芸術劇場などにもある「スタンウェイ」。大淀店では、実際に触れることができます

西村楽器 大淀店  
宮崎市古城町岡ノ原28-1  
tel.0985-54-6012  
※micc本店、都城店、延岡店、小林店も営業中